

令和3年度
埋蔵文化財調査士
資格試験

小論文問題・答案用紙

【I】一般テーマ

次の設問について、1200字以内で具体的に記述しなさい。

埋蔵文化財調査士補の資格取得後、新たに学習した技術や知識について、その成果を具体的に示し、どのように活用してきたかを述べよ。

受験番号	氏名

I

試験日：令和3年10月30日（土）

会場：「連合会館」東京・御茶ノ水

公益社団法人 日本文化財保護協会

令和3年度
埋蔵文化財調査士
資格試験

小論文問題・答案用紙

【Ⅱ】専門テーマ

次の設問から1問を選び、1200字以内で具体的に記述しなさい。

Ⅱ-① 3Dスキャニングおよび3Dプリント技術の普及により各種出土品の修復・復元の分野においても従来とは異なる手法や考え方が生まれてきた。修復・復元の技術的自由度が増すことは基本的には歓迎すべきであるが、学術的な立場から大きく逸脱するような事態は避けなければならないだろう。このような3D技術を用いた出土品の修復・復元に関して、その可能性と注意すべき点の両方について、以下の5つの言葉をすべて用いて述べよ（ことばの使用順は問わない。使用箇所には下線を引くこと）。なお、3D技術一般について触れることは良いが、出土品の修復・復元に関する意見を中心に、具体例を挙げるなどして記述すること。

美観 学術 作業性 3Dデータの管理 立体的な遺物

Ⅱ-② 発掘調査は考古学の重要な調査法であるが、古くから発掘調査によらずに遺構・遺物等の資料を調査・研究する方法が存在し、一部は今日でも行われている。中近世の考古学を念頭に、発掘調査によらない調査法の概略について述べよ。（電気探査など理化学的方法を除く。）

受験番号	氏名	選択番号	Ⅱ

試験日：令和3年10月30日（土）

会場：「連合会館」東京・御茶ノ水

公益社団法人 日本文化財保護協会